

あさかわ い もの 浅川の生き物



みなみあさかわ きたあさかわ ごうりゅうちてん きよかわちようふん
▲南浅川と北浅川の合流地点(清川町付近)

はちおうじしないなが わたし なじ がか あさかわ たまがわ しりゅう おお かわ なが こ ちい
八王子市内を流れ、私たちに馴染み深い浅川は多摩川の支流(大きな川に流れ込む、小さ
な川)の一つです。陣馬山や高尾山を水源(川の水などが流れ出てくるもと)とし、はちおうじし
か わ ひと じんばさん たかおさん すいげん かわ みず なが で はちおうじし
中心部を流れて日野市内で多摩川に合流(二つ以上の川がいっしょになってひとつの流れに
ちゅうしんぶ なが ひのしないなが たまがわ ごうりゅう ふた いじょう かわ なが
なること)しています。市内には浅川の支流がいくつもあります。湯殿川、やまだがわ かわくちがわ
しないなが あさかわ しりゅう ゆどのがわ やまだがわ かわくちがわ
南浅川、城山川などはみな、浅川の支流です。

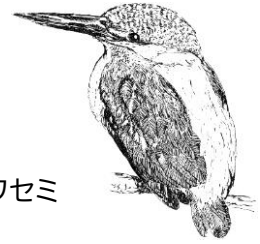
あさかわ えんちよう いっぽん なが しりゅう あ そうえんちよう
浅川は延長(一本につなげたときの長さ)36.5km、支流も合わせた総延長は120.3
kmにもなります。しぜんゆた まちなか なが あさかわ
自然豊かなところや街中など、さまざまなところを流れる浅川にはどのよ
うな生き物がいるのでしょうか？ さっそく探検(たんけん)してみましょう。

あさかわ く やちよう 浅川に来る野鳥

浅川にはどのくらいの種類の野鳥がいますか？なんと、100種類以上の野鳥がいます。では、浅川にいる主な野鳥たちを見てみましょう。

カワセミは、スズメくらいの大きさの緑色の羽が美しい鳥で、大きくちばしで魚をつかまえて食べます。浅川本流では特に松枝橋より上流に多くいます。一年中見られます。

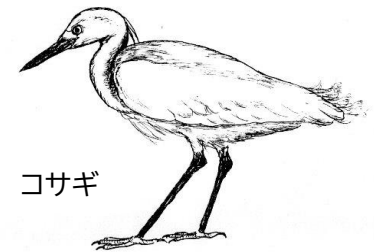
カワセミ



ヒドリガモ

カルガモでお馴染みのカモの仲間には、カルガモ、コガモ、ヒドリガモ、オナガガモの4種類がよく見られ、他にもマガモなどがいます。コガモやオナガガモは支流も含めて冬の浅川のどこでも比較的よく見られます。カルガモは一年中見られます。

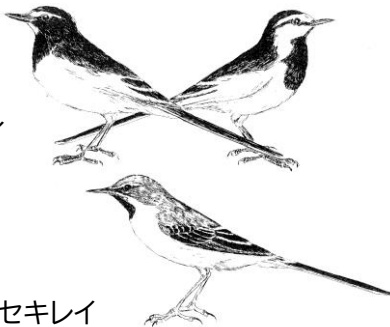
サギの仲間ではコサギが一番よく見られます。サギはツルに似た、くちばし、首、足が長い鳥です。他にもダイサギやゴイサギ、アオサギなどが浅川の中流から下流にかけています。



コサギ

ハクセキレイ

セグロセキレイ

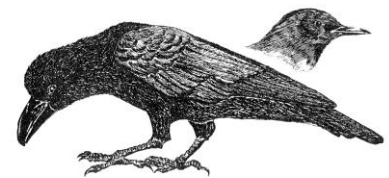


キセキレイ

セキレイの仲間には水辺に住む小鳥で、長い尾を上下に動かします。浅川ではキセキレイ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、タヒバリの4種類がいます。浅川のどこにでもいますが、夏になるとタヒバリは姿を消し、ハクセキレイも数が少なくなります。

ハシボソガラス

カラスには、ハシブトガラスとハシボソガラスの2種類がいます。両方とも浅川ではどこにでもいますが、ハシボソガラスは畑や田んぼなどの自然が多いところ、ハシブトガラスは人がたくさん住み、ゴミなどのあるところや山の中と、生活する場所がそれぞれ違います。



ハシブトガラス

りゅうちよう わた どり 留鳥・渡り鳥

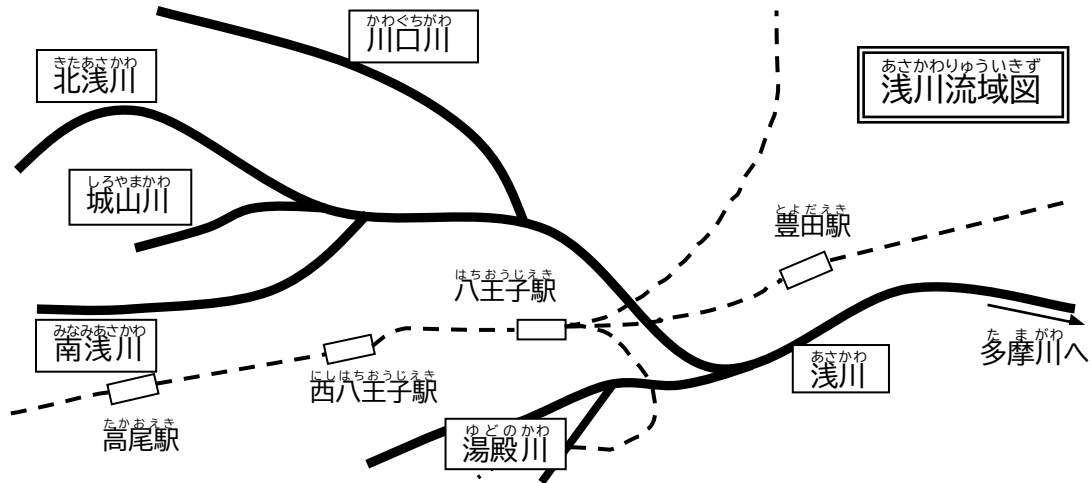
野鳥は、同じ地域で一年中生活している留鳥と、季節によってすみ場所を変える渡り鳥に分けられます。渡り鳥には、夏に渡ってくる夏鳥、冬に渡ってくる冬鳥、春と秋の渡りの途中に立ち寄る旅鳥があります。

あさかわ さかな 浅川の魚

つぎ さかな さが
次に魚たちを探してみましょう。

あさかわ ほんりゅう しりゅう みなみあさかわ かわぐちがわ み
浅川の本流や、支流の南浅川・川口川を見ても
じょうりゅう みず
と、上流には水のきれいなところにすむカジカやヤマ
メのほか、アユ、ウグイなどがいます。かわぐちがわ
東京都では少なくなっているスナヤツメもいます。
じょうりゅう ちゅうりゅう くだ
上流から中流に下ってくると、アブラハヤやオイカ
ワなど姿をあらわします。みなみあさかわ
南浅川ではホトケドジョウ
やシマドジョウなどもいます。ちゅうりゅう かりゅう
中流から下流にかけて
かわ みず よご よご みず た かわぐち さかな
は川の水も汚れていて、汚れた水にも耐えられる魚
たちがいます。あさかわほんりゅう なかま かわぐち
浅川本流にはコイやフナの仲間、川口
かわ
川にはモツゴ、コイ、キンブナやギンブナがよくいます。

さかな す かんきょう
魚たちにとって住みよい環境は…
さかな だこう ま
魚たちは蛇行(曲がっていること)して
かわ す
いる川が好きです。曲がっていると流れる
ちから かわ そこ ほ 心か
方で川の底が掘られ、深いところや浅い
ところが出来て、自然に遊んだり休んだり
する場所ができます。また川と土が仲良
なっているところもさかなたちは好きです。かわ
と石や土がじかに接しているところでは、
くさ さかな たまご
草に魚たちの卵がくっついたり、かげに
隠れたり、えさを食べたりすることもあり
ます。おおあめ かわ みず
大雨などで川の水が増えたときには
なが
流されないように草の間に入って身を尋
ります。



あさかわ こんちゅう 浅川の昆虫

では、昆虫はどんなものが多いでしょう。

ちょうの仲間やガの仲間、トンボの仲間、などいろいろな虫たちがいます。春になると、オスは黄色くメスは白いモンキチョウや、シジミチョウ、セセリチョウの仲間たち、夏にはアゲハチョウやガの仲間、ハグロトンボをはじめとするトンボの仲間たちに会えます。また、昼間飛ぶガの仲間、キハダカノコとヤホシホソマダラという珍しいガの一種も、浅川で見られたことがあります。

あき こんちゅう がっしょう き なかま
秋になると、昆虫たちの合唱が聞こえてきます。コオロギやキリギリスの仲間たち、スズムシやカンタンがきれいな鳴き声で私たちを楽しませてくれます。他にもアカトンボの仲間たちが姿を見せてくれます。さむ ふゆ かつどう
寒い冬にも活動しているのが、フユシャクガというシャクガの仲間です。すうねんまえ めづら しゅるい あさかわ み
数年前にはフチグロトゲエダシャクという珍しい種類が浅川で見つかったこともあります。いちねん とお むし あさかわ
一年を通して、いろいろな虫たちが浅川にはいます。

しら 調べてみましょう

ひとつのテーマについて調べる時、何冊かの本を調べることは、とても大切なことです。次^{つぎ}にあげる参考文献^{さんこうぶんげん}は、図書館^{としょかん}にある本^{ほん}の中で、小・中学生^{しょうちゅうがくせい}のみなさんにもわかりやすいものです。自分で調べ、まとめてみましょう。市内^{しんない}のどの図書館^{としょかん}に所蔵^{しょざう}しているかは館内OPAC^{かんない}で検索^{けんさく}、または職員^{しよくいん}へおたずねください。

※☆印^{じるし}のついているものは、特に小学生^{とく しょうがくせい}におすすめのものです。

☆『みんなの浅川』 浅川生きもの研究会／編 2000年

浅川^{あさかわ}の植物^{しょくぶつ}、野鳥^{やちよう}、昆虫^{こんちゆう}、魚^{さかな}などの自然^{しぜん}についてわかりやすくまとめている。

『野鳥と出会う身近な探鳥コース』 八王子カワセミ会／編 1999年

浅川流域^{あさかわりゅういき}や市内^{しんない}のおもな公園^{こうえん}など、場所^{ばしょ}ごとにかんたんな説明^{せつめい}と地図^{ちず}がのっている。

『数えあげた浅川の野鳥』 八王子カワセミ会／編 1996年

浅川流域^{あさかわりゅういき}の野鳥^{やちよう}の観察^{かんさつ}結果^{けっか}が細^{こま}かくまとめられている。

『数え上げた浅川流域の野鳥2』 八王子・白野カワセミ会／編 2006年

20年間^{ねんかん}の観察^{かんさつ}の記録^{きろく}をまとめたもの。カラー写真^{しゃしん}や表^{ひょう}、グラフ^{がふ}などでわかりやすい。

『かわせみ』 八王子・白野カワセミ会 定期刊行物

浅川周辺^{あさかわしゅうへん}の野鳥^{やちよう}を観察^{かんさつ}する市民^{しみん}グループ^{きかんし}の機関誌^{さまざま}で、様々な調査^{ちようさ}結果^{けっか}がのっている。

☆『八王子の川と友だちになるノート』 八王子市環境部環境保全課／編

八王子^{はちおうじ}の川^{かわ}にすむ魚^{とこ}について絵入り^{えい}で説明^{せつめい}されている。

『平成9年度 中小河川環境実態調査報告書 浅川編』

東京都環境^{とうきょうとかんきょう}保全部^{ほぜんきょく}水質^{すいしつ}保全部^{ほぜん}水質^{ぶすいしつ}監視^{かんし}課^か／編 1999年

浅川^{あさかわ}の水質^{すいしつ}や生き物^{いもの}、川^{かわ}の環境^{かんきょう}について細^{こま}かく調査^{ちようさ}報告^{ほうこく}している。

☆『浅川わくわくマップ』 八王子青年会議所／編 1991年

浅川全体^{あさかわぜんたい}の地図^{ちず}で橋^{はし}の名前^{なまえ}などもあり、見てわかりやすい。

●インターネット情報 (最終確認日2022年8月17日)

「八王子・白野カワセミ会」 <http://kawasemi.main.jp/>

編集・発行

八王子市中央図書館

平成23年(2011年)6月

令和4年(2022年)8月 改訂